

平成 30 年度の取り組み：早期発見の推進

<がん検診受診率向上>

来年度は、これまでの受診率向上の取り組みに加え、新たに以下の取組を実施する。

<受診行動に影響を与える 3 大要因>

1 意識の向上 2 障害の除去 3 きっかけの提供

出展：国立がん研究センター保健社会学研究部内

「ソーシャルマーケティングを活用したがん検診受診率向上プロジェクト」事務局

新 規

1 意識の向上：疾病や検診の意義に対する理解を深めるサポート

- (1) 国立がん研究センターが作成し、ソーシャルマーケティング効果があると実証されたパンフレットを購入し、全世帯に配布する（5 がん検診）

2 障害の除去：費用やアクセスなど受診環境を整える

- (1) 健康手帳及び健康診査カードの持参を必須から任意に変更する
（健康手帳は自身の健康管理の記録として配布は継続予定）
- (2) 乳がん・子宮がん集団検診会場の再検討
各中学校区ごとの受診状況から重点地区を選出し、次年度の集団検診会場を検討する。

3 きっかけの提供：適切なメッセージによる受診勧奨

コール・リコール（勧奨・再勧奨）の対象者の拡大及び勧奨資材の見直し

- (1) 国立がん研究センターが作成したパンフレットを購入し、全世帯に配布する（5 がん検診）
- (2) 国立がん研究センターが作成したがん検診ごとの受診勧奨圧着ハガキの送付
- ・クーポン未利用者（子宮がん：21 歳女性・乳がん：41 歳女性）
 - ・乳がん検診未受診者（44 歳・50 歳・60 歳女性）
 - ・肺がん検診未受診者（66 歳男性）

<がん精密検査受診勧奨>

昨年度からの大腸がん検診について、精密検査の個別受診勧奨通知を行う。また、子宮がん検診については昨年同様、精検結果通知書の未提出をなくすよう医療機関に働きかける予定である。

がん検診等のお知らせ（案）

対 象 者	職場などで検診・検査を受ける機会がなく、下表の該当年齢の岡山市民の方
実 施 期 間	平成30年6月1日から12月31日（休日、年末など医療機関の休診日を除きます。）
実 施 場 所	岡山市内の医療機関（詳しくは6月中に各戸配布される「けんしんガイド」をご覧ください。）
持 参 す る も の	健康保険証や介護保険証など公的身分証明書 （健康手帳と健康診査カードの持参は必須ではありません。健康手帳は、各自の検診結果を記録するなど、健康管理にご活用いただけます。）

種類	内容	該当年齢	備考
胃がん	胃部エックス線撮影	50歳以上の偶数年齢の方（2年に1回） ※前年度未受診の方は奇数年齢でも受診できます。	集団検診あり
	胃内視鏡検査		
乳がん	マンモグラフィ検査 （視触診併用）	40歳以上の偶数年齢の女性（2年に1回） ※前年度未受診の方は奇数年齢でも受診できます。	集団検診あり
子宮がん	頸部細胞診	20歳以上の偶数年齢の女性（2年に1回） ※前年度未受診の方は奇数年齢でも受診できます。 ※30歳～65歳の間は毎年受診できます。	集団検診あり
肺がん	胸部エックス線撮影	40歳以上の方	集団検診あり
	喀痰細胞診 （たんの検査）	50歳以上で喫煙指数が600以上の方	
大腸がん	便潜血反応検査	40歳以上の方	
肝炎ウィルス検査	B・C型肝炎ウィルス検査 （血液検査）	40歳の方 * 41歳以上でこれまで肝炎ウィルス検査を受けたことのない方、または肝機能の異常を指摘されたことのある方	
後期高齢者健診	血液検査・尿検査	後期高齢者医療被保険者証をお持ちの方（被保険者証持参）	
生活保護等受給者の健診	血液検査・尿検査	40歳以上で生活保護等を受給されている方（無料券持参）	
特定健康診査	血液検査・尿検査	40歳以上の方 * 健診の内容は、加入している健康保険へお問い合わせください。	

※対象年齢は平成31年4月1日時点での年齢です。

その1

検診受診時には健康保険証等が必要です

平成30年度から健康手帳と健康診査カードの持参がなくても、検診を受診できるように変更します。検診を受けるときは、健康保険証、介護保険証などの公的身分証明書をご持参ください。また、非課税世帯及び生活保護を受給中の方は、無料券をご持参ください。

健康手帳は健康管理のための記録として、引き続きお使いください。ご希望の方には、岡山市保健所・保健センター、区役所、地域センター等の窓口でお渡しいたします。

その2

けんしん専用ダイヤルを設置します

がんの早期発見のために、科学的根拠に基づいた、市のがん検診を受診しましょう。更に、検診の結果、精密検査が必要とされた方は、必ず精密検査を受けるなど、必要・適切な診療につなげていくことも重要です。

岡山市では、国の示す検診実施のための指針に基づき、胃がん検診・大腸がん検診・肺がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診を実施し、同時に、がん検診が適切に行われるよう精度管理を行うとともに、検診受診率の向上や精密検査の受診勧奨に取り組んでいます。また、お問い合わせ先として、30年度から、けんしん専用ダイヤル（086-803-1202）を設置しますのでご利用ください。

なお、国の示すがん検診の指針で推奨されていない前立腺がん検診は、市のがん検診から外れました。

- 排尿困難や夜間頻尿、下腹部の不快感などの症状がある方は、早めの受診をお勧めします。
- 前立腺がん検診として行っていたP S A検査は、自己負担で検査を実施している医療機関があります。
- 前立腺がん検査の受け方については、けんしん専用ダイヤルにお問い合わせください。